

次世代につなぐ

持続可能なまちづくり

笑顔が輝くうきは市

この度の市長選挙では、市民の皆さまのご支援、ご信任をいただき、3代目うきは市長として重責を担わせていただくこととなりました。皆さまの大きな期待をしっかりと受け止めながら、ふるさとうきは市の発展に向け、全身全霊を捧げて市政運営に取り組んでまいります。

市政運営にあたっては、2年間の市議会議員としての経験を生かし、職員と一丸となつて、「市民が安心できるまちづくり」を目指し、「現場の声を聞き」「既存の考え」方だけにとらわれないこと、「しっかりと」した政策的・財政的な裏付けのある施策を「市民にわかりやすく発信すること」を心がけて、市民の皆さまとともに進めてまいります。

加えて、令和7年3月には、平成の大合併により旧浮羽町と旧吉井町が「うきは市」となり20周年を迎えます。この市政の節目を旧態依然とした政治を変革するチャンスとし、「次世代につなぐまちづくり」をスローガンに掲げ、この

まちと子どもたちの将来のため、市長に課せられた使命を果たしてまいります。

うきは市は地域資源、歴史資源にあふれた地域です。豊かな自然、多彩な食、歴史や文化、伝統などに恵まれた環境での暮らしができていますが、実感が少ない市民が多くおられます。これは人口減少や地域の課題など、将来的な不安、また将来への夢や希望が持てないと感じているからではないでしょうか。

また、全国的な人口減少の流れの中うきは市でも、さまざまな移住施策や関係人口を増やす施策を行っておりますが人口減少は進んでいる状況です。そのため、「故郷うきは」をつくること、巣立った世代が帰ってきたくなる、高齢者に新たな生きがい生まれる、移住者が増える3方良しの施策を進めてまいります。

うきは市で安心して生き生きと暮らしていただけるよう、市民の皆さまの声をしっかりと聞きながら、各地域の課題に応じた支援を行ってまいります。

さらに、デジタル化の推進や脱炭素社会の実現にも、民間事業者等と協力しながら市政運営を行ってまいります。



うきは市の発展は、行政だけの力ではなし得るものではありません。市民の皆さまと心をつなぐ「次世代につなぐ持続可能なまちづくり」。「笑顔が輝くうきは市」に向かって、スピード感をもって取り組んでまいります。

皆さまの格別のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

うきは市長

権藤 英樹

権藤 英樹 (48) 大村区

福岡大学法学部卒業。西日本鉄道株式会社で勤めたほか、西日本鉄道労働組合政策部長、連合福岡政策・政治局長を務めたのち、うきは市議会議員を2年務める。